

# 平成24年度後期開催講

会場：星薬科大学

月日	講座名	時間	受講料	講座内容	単位
10/13 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 ・ 20:30	3,000円	<b>がん化学療法と緩和ケア(5)</b> ●フレッチャーパドックスの真実： マイクロRNAが司る生体のホメオスタシス 落谷 孝広(国立がん研究センター研究所) ○【症例検討】	2
10/21 (日)	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30 ・ 17:00	2,000円	<b>糖尿病治療 up to date</b> ●腎臓病に対するレニン・アンジオテンシン系阻害薬を 積極的に使用した積極的治療 西山 成(香川大学医学部) ●経口糖尿病薬を中心とした2型糖尿病治療 窪田 哲也(東京大学大学院 医学系研究科)	2
11/10 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 ・ 20:30	3,000円	<b>がん化学療法と緩和ケア(6)</b> ●オピオイド鎮痛薬の新たな展開 鈴木 勉(星薬科大学薬品毒性学教室) ○【症例検討】	2
11/11 (日)	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30 ・ 17:00	2,000円	<b>樹状細胞を中心とする免疫療法研究の最前線</b> ●免疫反応の制御で皮膚疾患の治療を目指す —樹状細胞により誘導された制御性T細胞の利用— 山崎 小百合(名古屋市立大学大学院 医学研究科) ●自然免疫と獲得免疫を誘導するワクチンの開発 藤井 眞一郎(理化学研究所)	2
12/8 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 ・ 20:30	3,000円	<b>がん化学療法と緩和ケア(7)</b> ●がん患者さんの生活の質(QOL)を向上させるための薬剤 ならびに処方開発～科学的な作用メカニズム解明と エビデンスに基づいた臨床研究を通して～ 上園 保仁(国立がん研究センター研究所) ○【症例検討】	2
12/9 (日)	大学院講義連携講座 (がん治療・緩和医療特別講義Ⅰ)	13:30 ・ 17:00	2,000円	<b>がん治療と緩和医療 up to date</b> ●緩和ケアとがんの痛みの治療 的場 元弘(国立がん研究センター中央病院) ●がんの分子異常と個別化治療 牛島 俊和(国立がん研究センター研究所)	2
2/23 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 ・ 20:30	3,000円	<b>がん化学療法と緩和ケア(8)</b> ●オピオイドの臨床：なぜオピオイドが危ないのか？ 山口 重樹(独協医科大学医学部) ○【症例検討】	2
2/24 (日)	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30 ・ 17:00	2,000円	<b>乳がん診断・治療 up to date</b> ●乳がんの疫学・診断・検診について 片岡 健(広島大学大学院医歯薬保健学研究院) ●乳がん治療最前線—標準化と個別化の間にて— 中村 清吾(昭和大学医学部乳腺外科)	2
3/9 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 ・ 20:30	3,000円	<b>がん化学療法と緩和ケア(9)</b> ●抗癌剤への耐性化獲得機構とその克服 清水 孝恒(星薬科大学病態生理学教室) ○【症例検討】	2
3/10 (日)	日本肥満学会連携講座	13:30 ・ 17:00	2,000円	<b>生活習慣病改善指導</b> ●肥満・肥満症の病態と治療 宮崎 滋(結核予防会新山手病院 生活習慣病センター) ●食欲調節機構と肥満・肥満症の新規治療戦略 矢田 俊彦(自治医科大学医学部)	2 ※
3/24 (日)	薬剤師生涯学習・講演会シリーズ	13:30 ・ 17:00	2,000円	<b>臨床医から見た皮膚疾患の先端医療</b> ●皮膚の組織代謝—マトリクスメタロプロテアーゼと皮膚疾患— 小林 孝志(帝京大学ちば総合医療センター皮膚科) ●褥瘡・皮膚潰瘍の薬物治療の基礎と実際 磯貝 善蔵(国立長寿医療研究センター)	2
5月   12月	社会人大学院(夜間開講) 講義受講コース	19:00   21:00	3,000円	詳細はこちらをクリック → <a href="http://www.hoshi.ac.jp/home/nintei/pdf/h24yakan.pdf">http://www.hoshi.ac.jp/home/nintei/pdf/h24yakan.pdf</a>	1.5

・星薬科大学認定薬剤師認定単位を2単位取得できます。

・大学院講義連携セミナー、および12/9の大学院講義連携講義は日本緩和医療薬学会の後援を得ているため、本学認定単位または日本緩和医療薬学会認定単位のいずれかを選択することができます。

※日本肥満学会連携講座は日本肥満学会と共催のため、希望者には生活習慣病改善指導士の認定試験申請資格に関わる単位(2単位)もに付与されます。